

さんいく 恭

賛育会後援会事務局・〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8 TEL 03-3622-7614・編集発行者 繁田 正人

後援会が変わろうとしています

賛育会後援会会長 徳久 俊彦



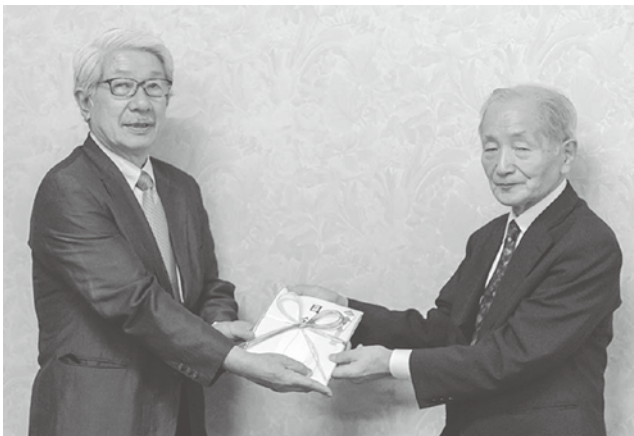
賛育会は二〇一八年三月に、創立百周年を迎え、新たな百年に向かって歩み出そうとしています。これまでの医療、高齢者ケア、保育の事業を基軸としながら、夫々の地域との関わりを一層深める活動を進めております。また熊本の災害救援に力を入れ、その体験を生かし、自らの地で災害が起きた時にも役立とうとしています。後援会も、それに添って変わらねばなりません。後援会は今までの、地元企業と東大や早稲田、慶応等の学生キリスト教青年会の方々の後援をお願いして来ましたが、その基盤を土台に、賛育会百年の歴史の中で退職された職員や、ご縁の深かった患者さんや利用者や、そのご家族にも加わって頂けることを夢見ております。かつて賛育会病院には退職職員の「同窓会」がありましたし、六年前のチャリティコンサートでは、賛育会病院で三世代お産をされた方々をお招きしたこともありました。これらの方々の中で、賛育会を応援してやろうという方の中に、後援会に加わって頂きたいと願っております。そのためには今迄以上に賛育会に関わるチャンスが必要で、後援会としても現役の職員の方々を助けて頂きながら、そのような機会を作ります。ぜひともご検討をお願いします。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

後援会定期役員会報告

六月二三日、神田錦町の学士会館にて後援会定期役員会が開催されました。後援会役員、賛育会役員、賛育会職員、計一六名の出席を得て、二〇一五年度事業報告及び決算、二〇一六年度事業計画および予算について協議承認されました。その後、寄付金の贈呈式があり、徳久会長より小堀理事長に目録が贈られました。

◆出席者(敬称略・順不同)

徳久 俊彦 梶村 慎吾 小林 道彦
横倉 正義 住田 学 小堀 洋志
木村 庸伍 井口 延 西原 良信
島田 茂 繁田 正人 遠矢 充宏
田中 弘道 加藤 玉樹 小泉 美壽
平間 香織



後援会長から理事長へ目録の贈呈

二〇一五年度報告

- 機関紙「さんいく」発行 8月、12月 3856部
- 東大Y会員宛お祝い状 280部
- キリスト者三田会会員宛お祝い状 27通
- 早大Y会員宛お祝い状 16通
- 教会及び学校宛クリスマス献金お祝い状 274通
- 誕生日カード 647通
- 年賀状 374通
- 各施設、職員宛クリスマス献金依頼(チラシ、ポスター)

◆チャリティコンサート二〇一五

二〇一五年一〇月一五日、すみだトリフォニーホールに一一二名を集めて開催されました。例年と同様、玉の肌石鹸株式会社、ミヨシ石鹸株式会社の協賛、墨田区社会福祉協議会、東京商工会議所隅田支部、東京社会福祉協議会の後援の他、全八四社(九四〇)の協賛を得て、大変に盛会となりました。

◆会計報告

収入の部		支出の部	
会費収入	440万9470円	事務費	47万1402円
雑収入	673円	コンサート寄付	296万7619円
コンサト益金	296万7619円	当期繰越金	393万8741円
収入合計	737万7762円		
		支援合計	393万8741円

◆目録として贈呈した金額の用途については次の通り承認されました。

- 在日外国人医療及び出産前後ハイリスク医療事業への補助 30万円
- 外国人介護従事者に対する日本語学校への支援 30万円
- 社会貢献活動・熊本地震復興への支援 30万円

題字「さんいく」は、元後援会名誉会長故湯浅恭三氏の筆です。

二〇一六年度計画を決定

定期役員会において二〇一六年度計画案を審議、原案通り決定しました。二〇一六年度は計画にあるように、積極的な展開を図り、新たな応援者を獲得してまいります。

例年通りチャリティーコンサートを開催し、賛育会病院建替えに協力してまいります。加えてコンサート当日に「後援会・同窓会の集い(仮称)」を開催し、退職者および関係者の皆さまの交流を図ってまいります。また、町田、東海、豊野の各地においても職員OB・OGの組織化を図り、後援会の広がりを拡大してまいります。

二〇一六年度計画(抜粋)

賛育会が「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」(ローマの信徒への手紙12章15節)を年度の基本聖句として掲げ、「地域に仕える」ことに働きの重点を置いて事業・活動を展開することを覚悟、後援会としてその諸活動を支える。

I 後援会会員・賛育会支援者の募集
(目標:350名,506.1万円)

広報活動の強化

賛育会の地域活動・社会貢献活動に関する広報を強化することによって理解者および応援者を増やしていく。

法人職員・退職者への協力要請

法人の現役職員および退職者が、広報を通じて賛育会の地域活動・社会貢献活動についての理解を深め、応援者となってくれるよう働きかける。

●「後援会・同窓会の集い」の開催
チャリティーコンサート当日、

「後援会・同窓会の集い(仮称)」を退職者と関係者のホーム・カミング・デイとして開催し、改めて後援会に連なり、支援をしてくださるようお願いをする機会とする。

●ポランティア活動へのお誘い

金銭的な支援ばかりではなく、多様な支援の在り方を提起し、応援者のすそ野を拡大していく。

II チャリティーコンサート開催

一月一日、「チャリティーコンサート二〇一六」をすみだトリフォニーホールにて開催する。

●III 次の通り賛育会の働きを援助する

● 在日外国人医療及び出産前後ハイリスク医療事業への補助 (30万円)

● 外国人介護従事者等に対する日本語学習への支援 (30万円)

● 地域貢献活動への支援(446万円)

● 賛育会病院建て替え準備資金チャリティー(コンサート) (350万円)

《後援会役員》

会長	徳久 俊彦
副会長	駿河敬次郎
副会長	梶村 慎吾
理事	橋本 章
理事	雨宮 栄一
理事	小林 道彦
理事	山本 和
理事	井口 延
理事	柴田 光昭
理事	横倉 正義
監事	住田 学

熊本地震復興支援活動

二〇一六年四月一日および一日に発生した熊本地震の直後から、賛育会は職員を現地に派遣して支援活動を行いました。

地震発生から間もない四月一日、賛育会では第一期の職員を熊本に派遣いたしました。先遣隊として現地の状況を把握し、後続の支援体制を整えました。以来、二三期にわたって延べ三五名の職員(相談員、ケアマネ、介護員、看護師等)を派遣し続けました。

今回の熊本地震では、日本YMCA同盟と連携の下、熊本YMCAが指定管理者をつとめる益城町総合体育館において、YMCAのパートナーとしての活動をいたしました。高齢者福祉や医療の分野における対人援助の専門家である賛育会の職員が、青少年の育成やコミュニティ作りに向けたYMCAのパートナー

として共働することで、それぞれの組織だけではできない、丁寧なケアを提供することができました。

入浴介助などの目に見えるワークを通しての支援活動はもちろん重要な働きでしたが、避難している方のお話をじっくりとお聴きし、何にお困りなのかを理解し、解決に繋げ、更には日常の生活を取り戻していくための筋道を共に探っていくという相談員としての働きも重要なものとなりました。そして、自らも被災してはいたが、避難所で働き続けている熊本YMCAの職員の方をお支えることも賛育会の大切な働きの一つとなりました。

そして、何よりも、YMCA運動から押し出されて誕生した賛育会が百周年を前に、これほど深くYMCAとスクラムを組んで被災された人たちのために共に働くことができたことの意味は誠に大きいものでした。



賛育会の地域活動・社会貢献活動

賛育会が行っている地域活動・社会貢献活動は大変多岐にわたりますが、今回はその中から四つの活動をご紹介します。詳しくはFacebook【いろいろ賛育会/活動取材日記】<https://www.facebook.com/iroi319/>をご覧ください。



いのちの授業 (賛育会病院)

病院の助産師が、墨田区内の小学校で、受精によるいのちの始まりから出産までの事を「いのちの語り部」として子供たちに語りかけます。子供たちは、奇跡のような命の尊さを知り、自分がどれほど愛されているのかを考え、友達もまた大切な存在であることに気づき、自己肯定ができていきます。

社交的な場において出てこない男性向けの閉じこもり予防の取り組み。特養併設の高齢者や地域の民生委員等が気にかかっている方をお誘いしていただきます。出会う際には、声を掛け合う仲間になっていきます。飲酒後、夜の足元の安全を確保するため、デイサービスの車両を使つての送迎も。

長屋で居酒屋 (はなみずきホーム)



介護者教室 (マイホーム新川)

家庭に介護を必要とする家族がいる人、親や連れ合いの介護が必要になった時に備えたい人など、家庭で介護の知識と技術が必要としてきている人は増えてきています。そうした方に、介護施設として持つていく知識や技術を伝える教室。基本的な知識とちよつとしたコツを知るだけでもずいぶん違います。



えびす屋 (東海清風園)

かつて駄菓子屋だった古い家屋を借りて駄菓子屋をしています。市民の居場所作りの一環として始まりました。お店の奥には子供たちが自由に遊んでいける広間があり、ここで職員に勉強を見てもらう子も。最近では地域の高校生がボランティアとしてかかってきて、活動に広がりが出てきました。



賛育会をお支え下さい

賛育会の活動は多くの人々のお志によつて支えられてきました。皆さまのお志は、本年度、在日外国人医療及び出産前後ハイリスク医療事業、外国人介護従事者等に対する日本語学校の支援、社会貢献活動・熊本地震復興支援活動、更には賛育会病院の建て替え準備のために用いさせていただきます。皆さまからの寄付をよろしく願いたします。

賛育会後援会要項

募集目標(年間)

新規会員 310名

寄付金 1010万円(含むコンサート益金)

維持会費(年間)

A、5万円 B、3万円 C、1万円

D、5千円 E、3千円

賛助会費(年間)

A、30万円 B、20万円 C、10万円

その他「クリスマス献金」等回数・金額にかかわらずお受け致しますので、お願い申し上げます。

ご送金方法

本会所定あるいは郵便局備え付けの郵便振替「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、ご送金願います。尚、「払込取扱票」は、本紙と併せてお送りいたしますので、ご使用ください。

振替口座(郵便局)

00190077418054

銀行振込

三菱東京UFJ銀行 押上駅前支店

普通預金 3694555

みずほ銀行 押上支店

普通預金 15111088

三井住友銀行 錦糸町支店

普通預金 7087554

口座名義は「賛育会後援会」です。また、現金書留によるご送金や集金のご依頼もお受け致します。

機関紙をお送りします

会員の方々には後援会だより「さんいく」及び賛育会機関紙「賛育会ニュース」San'iku通信をお送りし、事業活動内容についてお知らせいたします。

お問い合わせ

賛育会法人事務局内 賛育会後援会事務局
TEL 03(3622)7614

賛育会後援会

～賛育会病院の建て替えのために～

第9回 チャリティーコンサート 2016



パイプオルガン
水野 均



バリトン
立花 敏弘



ソプラノ
高橋 薫子



ピアノ
長富 彩



ピアノ
御邊 典一

期日 2016年11月1日(火) 18:30開場/19:00開演

会場 すみだトリフォニーホール 大ホール(東京都墨田区錦糸町)

入場料 全席自由 2,000円

※チケットのお申込みは、同封の振込用紙をご利用ください。

佐藤 鈴木 日江 片田 米澤 鳥羽 山辺 久保 社村 今村
 藤木 井 恵 二美 和子 純子 末成 清子
 桂 子 田村 小畑 細田 西田 宰田 松井 伊藤 金室 岩森 寺内
 坦 照 牧 佐 治 愛 禎 津 枝 和 代
 之子 子 子 子 子 子 子 子 子 子

(有)山三商事 (有)小松寿司
 (株)アドバンス 中部サービス
 (株)エースプリント
 (財)東京大学学生YMCA
 (株)セレモニートニオン
 松戸教会 賛育会病院
 ひばりが丘教会 亀戸教会
 千葉本町教会
 鶴川教会 白鷺教会
 鶴川北教会 中野教会
 横濱海岸教会 下谷教会
 曳舟教会 浅草教会
 東京池袋教会
 四谷新生教会
 女子学院宗教部
 明治学院高等学校
 青山学院初等部
 田園調布教会 渋谷教会
 聖路加国際病院 礼拝堂
 玉川教会 日本聾話学校

二〇一五年一月より二〇一六年六月までに次の団体・個人の方々よりご芳志をいただきました。深く感謝し、お名前を記します。(敬称略・順不同)

(株)アーバン企画
 聖路加国際病院 礼拝堂
 玉川教会 日本聾話学校
 田園調布教会 渋谷教会
 青山学院初等部
 明治学院高等学校
 女子学院宗教部
 四谷新生教会
 東京池袋教会
 曳舟教会 浅草教会
 横濱海岸教会 下谷教会
 鶴川北教会 中野教会
 鶴川教会 白鷺教会
 千葉本町教会
 ひばりが丘教会 亀戸教会
 松戸教会 賛育会病院
 (株)セレモニートニオン
 (財)東京大学学生YMCA
 (株)エースプリント
 (株)アドバンス 中部サービス
 (有)山三商事 (有)小松寿司

山口 瀬本 神野 萩村 今保 大野 赤野 梶内 佐野 倉澤 上柳 木村 青柳 堀河 駿河 徳久 鈴木 金田 片岡 田中 柴田 藤田 由良 高橋 関根 原田 高林 名島 古田 山本 恩田 島崎 芳賀 富田 小村 高林 西崎 井牧 迪蔵
 周昭 昭康 一瑞 康男 一忠 俊宏 昭俊 史堂 慎吾 謙一 隆平 昭治 庸五 健作 建郎 俊彦 敬章 美子 弘愛 三愛 道彦 慶彦 光昭 寿彦 幹彦 義夫 明夫 眞理 太郎 和彦 芳和 慶子 文治 愛子 愛子 和子 良子 駒藏

本城 杉本 小林 橋本 庄司 武藤 福本 佐藤 大野 古谷 川越 住田 則松 谷川 中井 松井 工藤 小藤 上野 桑原 三浦 町田 石井 生川 島根 小磯 藤村 吉岡 赤堀 徳永 雨宮 田辺 島田 麻生 山本 宮口 池田 木下 合田 橋田 隆史 隆毅 隆史 隆毅

賛育会後援会規約

- 第一条 (名称) 本会の名称は賛育会後援会という。
- 第二条 (目的) 本会は、キリスト教の精神にもとづき、隣人愛の実践の場として設立された社会福祉法人賛育会の趣旨に賛同し、同会が行なう事業を財政的に援助することにより、社会福祉事業のより一層の進展をはかることを目的とする。
- 第三条 (事業) 前条の目的を達成するため、次の事業を行う。一、後援会費、寄附金品の募集 二、チャリティショー、バザー等の実施 三、その他必要な事業
- 第四条 (事業所) 本会の事務所を、賛育会法人事務局に置く。(東京都墨田区太平三丁目一七番八号)
- 第五条 (会費) 本会の目的に賛同する者は誰でも会員になることができる。二、会員は別に定める「年度会費」を納入する。
- 第六条 (役員) 本会に次の役員をおく。会長 一名 副会長 若干名 理事 若干名 監事 二名 二、会長は社会福祉法人賛育会理事長が委嘱し、その他の役員は会長が委嘱する。三、会長は後援会の会務を総括し、副会長は会長を補佐する。四、役員は後援会を組織して、事業推進のための必要な協議を行う。会長、副会長は役員会の議長、副議長となる。
- 第七条 (役員会) 会長は役員会を招集し、以下の事項を決定する。一、事業計画並びに事業報告 二、予算並びに決算 三、その他事業推進に必要な事項 二、役員会の決定事項は、機関紙「さんいく」に掲載し公表する。
- 第八条 (名誉会長) 本会会長として多年に亘って奉仕し、功労顕著な方を名誉会長として推挙することが出来る。名誉会長は、社会福祉法人賛育会理事長が役員会の同意を得て推薦することが出来る。
- 第九条 (職員) 本会の日常業務を処理するため、事務局長以下若干名の職員をおく。二、事務局長は会長の命に従い、日常業務を処理する。
- 第一〇条 (会計並びに会計年度) 一、本会の必要経費は会員が納入する年度会費から支弁する。二、本会の会計年度は毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日を以って終る。
- 第二十一条 (附則) 一、この規約に定めのない事項その他必要な事項は、役員会の議を経て会長が決定する。二、この規約は、一九八三年七月二日より施行する。一九八四年五月一日 一部改正 一九八五年七月八日 一部改正 一九九二年一月三日 一部改正 一九九八年六月三日 一部改正